



EDI業務の効率化とは

～さまざまなEDI、日々行われている業務の効率化の提案



はじめに

業務効率化や改善で対象となってくる業務の一つに、受発注業務があります。

日々行われているこの業務は、企業間取引であれば、複数の取引先との膨大なやり取りを、決められた時間内にこなさなければならない、企業の業績に関わる重要な業務です。

この資料では、「EDIの業務効率化」でよく聞かれる言葉

- EOS
- WebEDI
- メールEDI

を解説し、業務を効率化する秘訣を紹介します。

- EOS／WebEDI／メールEDI とは
- 受発注業務～さまざまなEDIが混在
- どのように業務効率化を進めていく？
- EOSの効率化
- WebEDIの効率化
- メールEDIの効率化
- まとめ：さまざまなEDIを一本化
- 参考リンク

EOS / WebEDI / メールEDI とは

EOSはElectronic Ordering System（企業間の電子受発注システム）の頭文字をとった略語です。EOSはその言葉のとおり、受注や発注に関するデータを送受信するシステムです。

受発注に関するデータのほか、納品や在庫に関するデータの送受信も行えるようにEOSが進化したものが、EDIです。

EOSでは、各店舗や本部が発注や検品に関わる確定データをVANやデータセンターに送信し、受注業者がそのデータを受信します。

WebEDIは、WebブラウザやWebサーバなどWeb技術を用いた電子商取引です。具体的には、伝票表示型（ブラウザ型）とファイル転送型の、2つのタイプがあります。

伝票表示型は、注文書など紙の伝票がそのままWebブラウザに表示されているイメージです。

ファイル転送型は、その名のとおりファイル形式でビジネス文書のデータをやりとりします。発注企業がサーバへアップロードした注文書ファイルを、受注企業がアクセスしてダウンロードします。

メールEDIは、メール機能を利用して注文書をExcelやCSVで送信し、取引をします。

通信手段である電子メールを利用し、これまでFAXや電話などで発注していた業務をメールEDIに切り替えて、ファイルでデータをやり取りします。

受注する側は、受注データを基幹システムに取り込み、後工程である出荷や請求業務がスムーズになります。電子メールさえあれば受発注業務のデータ化がかなうメールEDIは、企業規模に関係なく業務を効率化できるところがポイントです。

受発注業務～さまざまなEDIが混在

発注側



流通BMS
JX手順
JCA手順
全銀手順
全銀 TCP/IP
WebEDI
メールEDI
FAX受注
…さまざまなEDI

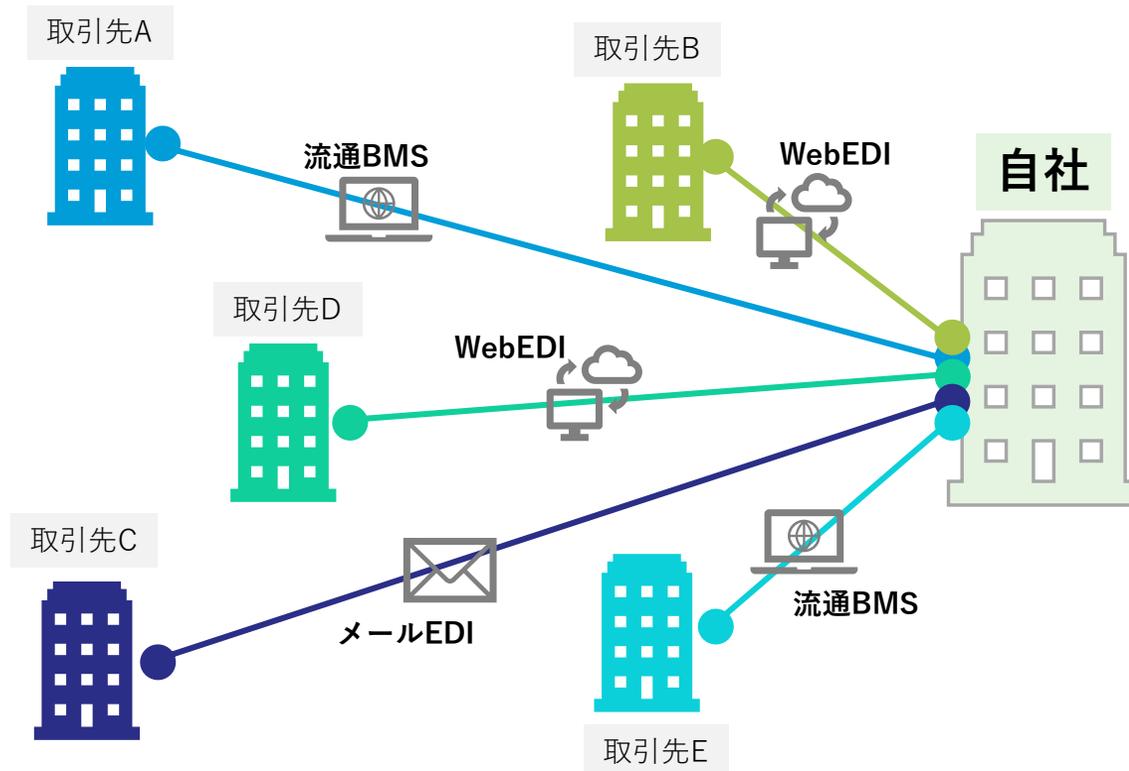


受注側



どのように業務効率化を進めていく？

おそらく、これを読んでいる方の企業の取引先は、複数あるのではないのでしょうか。それぞれの取引先が、それぞれのEDIでの発注をする中、今後も拡大するビジネスや取引社数を考えると、人手に頼った受注業務は早々に限界が見えてきます。



商品を発注する・受注するという決められたやり取りを、迅速かつ正確に実行するために、システムを活用した仕組みづくりをすすめていきましょう。

とはいえ、EDIは自社だけが対応すればよいというものではありません。発注する側、受注する側双方の事前の調整が必要になります。

EOSの効率化

さまざまな発注側との取引においてデジタル化されており、**受発注の迅速性、正確性が実現**できている、と言えます。

一方、通信手順が複数あったり、取引先ごとの専用システムを使うことは逆に非効率になる可能性があります。

- 各取引先ごとの専用システムを使うと…
- ✓ システムごとにPCが必要、操作も異なる
 - ✓ 基幹システムへの連携プログラム開発がそれぞれ必要

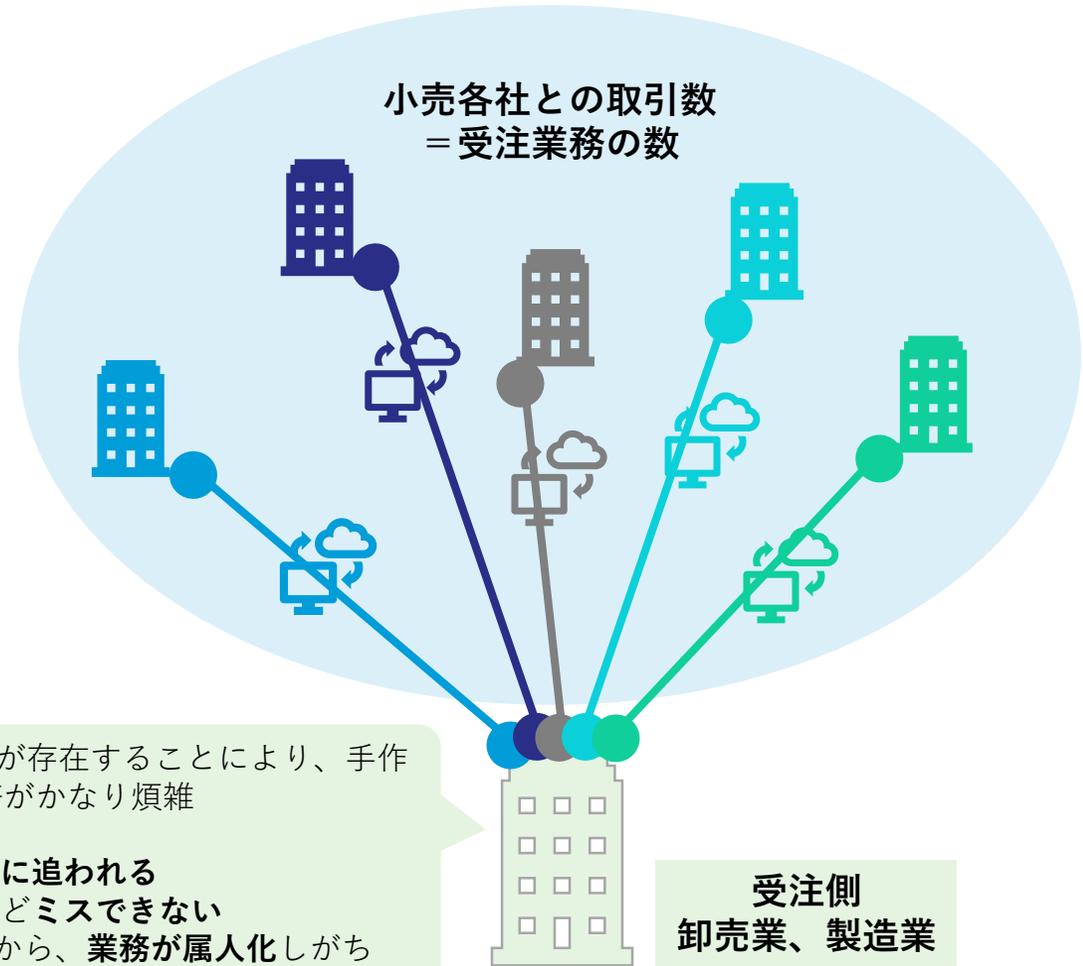
受注業務において、各社各様の対応を続けると、**業務の煩雑さや属人化**を生み、システム化したのに効率や効果が一向に上がらないという結果に。**標準化できるシステムの活用**を検討しましょう。



WebEDIの効率化

紙やFAXなど、アナログで進めている**小売店等の発注業務**は、システムを活用することで業務のスピードが上がり、商品をタイムリーに供給できるなど**顧客に対するサービスの向上につながる**ことは容易に想像できます。

一方、小売店等から発注を受ける**卸売業や製造業の受注業務**については、発注側がシステムを活用し始めたら、それに対応しなければなりません。



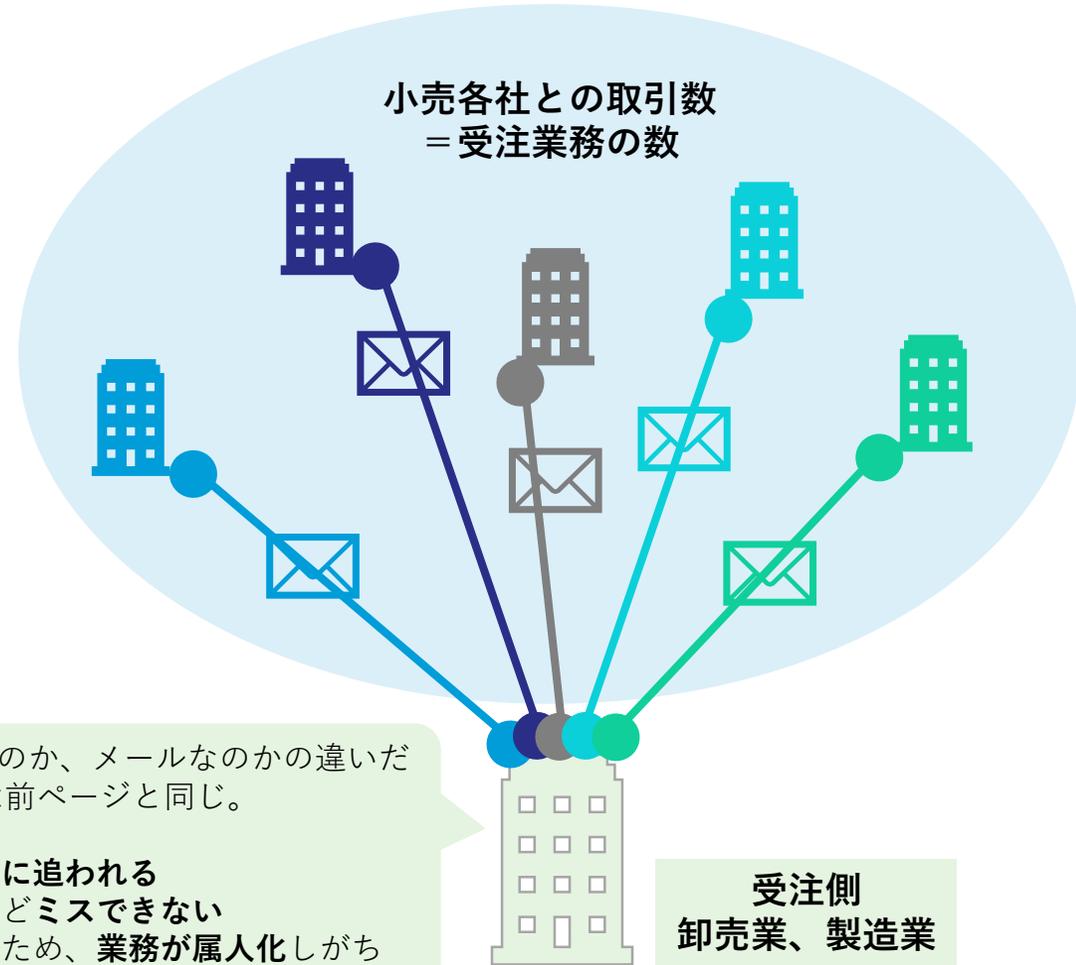
それぞれのWebEDIシステムが存在することにより、手作業で受注情報を取得する業務がかなり煩雑

- 受注から出荷まで、**時間に追われる**
 - 受注情報を取り違えるなど**ミスできない**
 - WebEDIシステムの違いから、**業務が属人化しがち**
 - 往々にして、**土日も休めず交代で勤務**
- おすすめは**RPAで受注業務を自動化**
- WebEDI業務の自動化実績多数**Autoジョブ名人**
 - **名人マーケット** (WebEDI業務用RPAシナリオ提供サイト)

メールEDIの効率化

EDIシステムを導入するほどコストを割けないが、**FAXや電話**などよりも**迅速性、正確性が期待できる**ため、**発注業務にメールを活用するケース（メールEDI）も多くあります。**

これについても、受注側は**メールを受信し添付ファイルを展開、書いてある注文内容を基幹システムへ入力**…などと、**人手による業務**となり、前ページのように**属人化しがち**であり、メールの見落とし、入力ミスなど、**正確性が担保できない**場合があります。



受注する仕組みがWebEDIなのか、メールなのかの違いだけであり、受注側の煩雑さは前ページと同じ。

- 受注から出荷まで、**時間に追われる**
 - 受注情報を取り違えるなど**ミスできない**
 - 各社各様のメール発注のため、**業務が属人化しがち**
 - 往々にして、**土日休めず交代で勤務**
- おすすめは**RPAで受注業務を自動化**
- メール業務に特化したRPA **Autoメール名人**
 - メールならではの受注、仕分け判断作業（パスワード等別メールでの受信、メールタイトルの違い、内容の記述方法の違い）は、汎用的なRPAでは困難。**※次ページ参照**

附) 汎用的なRPAではメール業務の自動化が困難

汎用的なRPAではメール受信がうまく自動化できない

- **対象メールの特定ができない**
随時追加されていく受信フォルダから、対象メールの特定に失敗する。
- **パスワードの処理ができない**
別メールでの送付される「添付ファイル開封パスワード」の処理ができない。
- **添付ファイルの処理に時間がかかる**
ファイルの変換や並び替えをEXCELなどで処理する時間がかかる。
- **メール受信と同時にRPAを起動させたいが…**
特定のメール受信をトリガーに業務を自動化するのが難しい。

解決

メーカーを内蔵したRPA

Autoメール *おん*

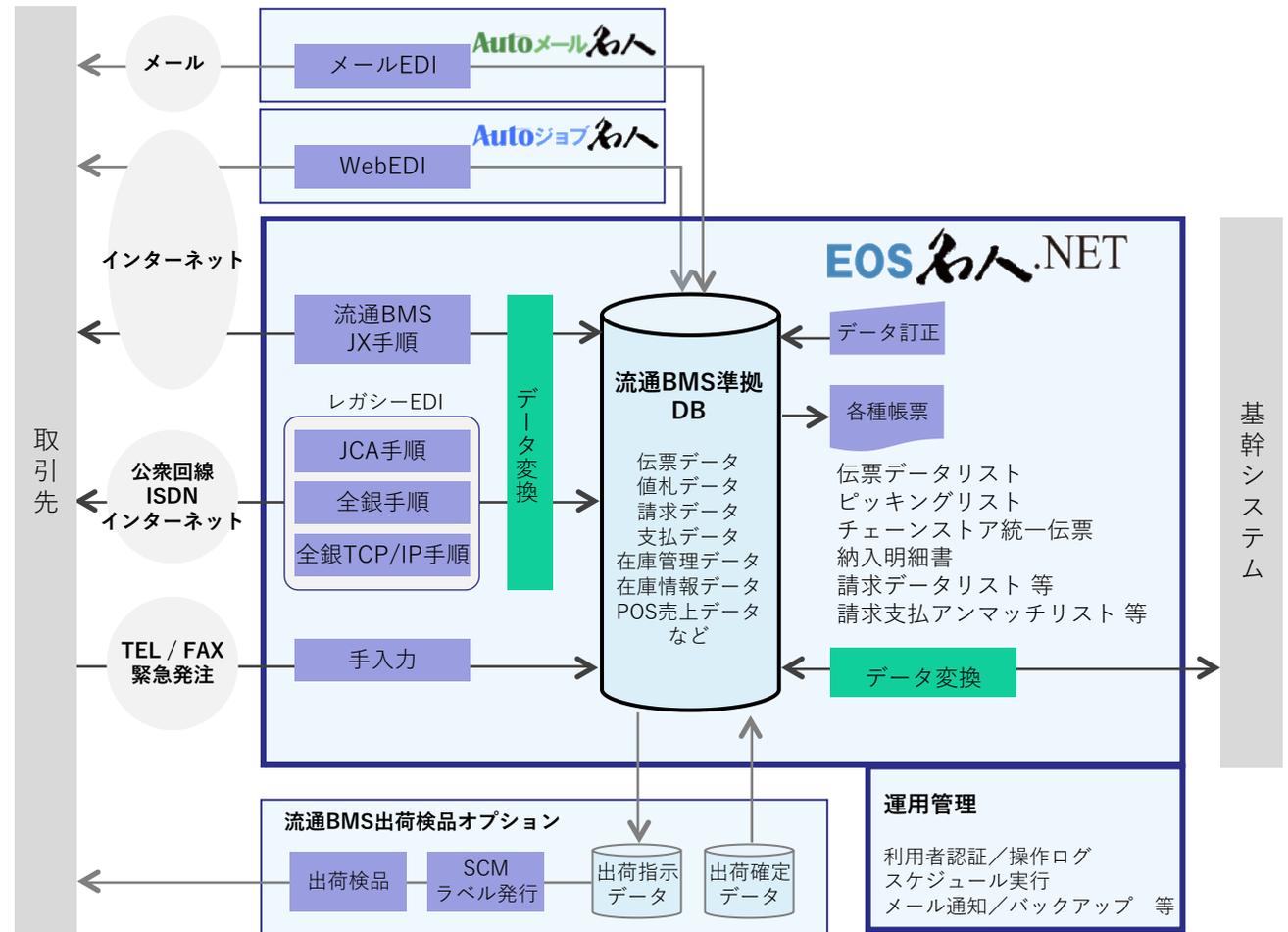
- メール受信の処理を確実に安定して自動化
- 添付ファイル、大量データ処理も安心
- メール受信起動や他のプログラムの起動も可能

メール送受信、添付ファイルの圧縮・解凍、別メールでのパスワードで解凍、メール本文からのデータ取出し、エクセルやデータベースとのデータ連携 すべて可能

まとめ：さまざまなEDIを一本化

企業間取引においてさまざまな形態のEDIが存在

- 受注する企業側は、データ化、自動化を進め、取引の増大と取引先の満足度向上につなげていくべきです。
(企業競争力の強化)
- さまざまなEDIを受注側のシステムで**一本化**できれば、迅速な出荷、欠品ゼロが実現できるだけでなく、顧客からの注文データは貴重なマーケティング資産となり、売れ筋や新製品開発に役立てることができます。



参考リンク

EOS名人<あらゆる小売業とのEDI取引に対応>

概要：<https://www.usknet.com/services/eos/>

資料請求：<https://info.usknet.com/request/eos/>

EOS名人.NET

WebEDIの効率化<Autoジョブ名人>

概要：<https://www.usknet.com/services/autojob/>

資料請求：<https://info.usknet.com/l/916621/2021-03-09/j5r>

Autoジョブ名人

各種WebEDI業務のRPA自動化シナリオの提供<名人マーケット>

https://www.usknet.com/services/autojob/meijin_market/

名人マーケット

メールEDIの効率化<Autoメール名人>

概要：<https://www.usknet.com/services/automail/>

資料請求：<https://info.usknet.com/l/916621/2021-03-09/j8k>

Autoメール名人

EDI業務効率化についてのお問合せ（EDI業務の効率化を見て、とお書きください）

<https://info.usknet.com/l/916621/2021-03-08/h27>

Information

本資料についてのお問合せ
ユーザックシステムマーケティング本部

meijin@usknet.co.jp 高橋

ユーザックシステム株式会社

東京本社 | 〒104-0033
東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル4F
TEL.03-6661-1210 FAX.03-5643-0909

大阪本社 | 〒541-0048
大阪府中央区瓦町1-6-10 JPビル3F
TEL.06-6228-1383 FAX.06-6228-1380

<https://www.usknet.com>

meijin@usknet.co.jp